

「令和4年度全国ノリ研究会」が岡山県で開催されました

令和4年8月25日から26日にかけて、岡山市内で「令和4年度全国ノリ研究会」が開催されました。この研究会は、水産研究教育機構水産技術研究所主催の下、水産庁のノリ養殖担当専門官を始め、各県水産研究所のノリ養殖技術指導者や漁業団体など多数の参加がありました(写真1)。新型コロナウイルス感染症第7波の影響もあり、一部の機関はweb参加となりました。

議事は、開会の挨拶に続き、参加県から「令和3年漁期の不作要因」と「優良品種の育成」に関する報告が行われました(写真2)。続いて、全国海苔貝類漁業協同組合連合会から「令和3年度海苔漁期の作柄状況および輸入動向」の説明がなされ、その後、参加機関のノリ関連試験研究に関する取り組み状況の紹介がありました。最後に、岡山県漁業協同組合連合会から「岡山のり」の概要と販売促進の取組について」と題し、現在、販売に力を入れている「新の頂」や「岡山若のり」のブランド化による販売戦略の講演がありました。

今回の研究会の中心課題は、各県ノリ養殖の不振に対応した研究に関するテーマが多く、本県でも取り組んだ高水温耐性株の開発や色落ち被害に対応した養殖品種の探索、また近年被害が拡大傾向にある食害への対応など興味深い事例が多く紹介されました。本県のノリ養殖も同様な課題に直面しており、今後とも岡山県のノリ養殖の発展に寄与できるような研究を行わなければならないと思いました。

最後になりましたが、今年度のノリ漁期が豊漁となることを祈念して令和4年度全国ノリ研究会の開催報告とします。

(海面・内水面増殖研究室 杉野)



写真1 研究会の開会の様子



写真2 岡山県の話題提供の様子